

文化科学研究の行方

The future of cultural and social studies

総研大文化フォーラム2022

2022.10.1 Sat

オンラインおよび対面参加による
ハイブリット開催

開会式
基調講演
研究発表
閉会式

>> 問い合わせ先

総合研究大学院大学 学務課学務支援係
〒240-0193 神奈川県三浦郡葉山町(湘南国際村)
TEL: 046-858-1583、1531 MAIL: gshien@ml.soken.ac.jp



主催：総合研究大学院大学文化科学研究科

※新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催日程および開催方法を変更する場合があります。ご了承ください。

S O K E N D A I



国立民族学博物館
National Museum of Ethnology

文化科学研究の 行方

総研大文化フォーラム2022

>>>開催趣旨

2023年4月、総合研究大学院大学は体制を刷新し、先端学術院先端学術専攻20コース体制(仮称)として文理融合の新たな知が創造される場となる予定です。それに伴い、これまで文化科学研究科が主催してきた総研大文化フォーラムは、今年度が最後の開催となります。

今回の総研大文化フォーラムでは、文化科学研究科の過去を振り返るのではなく、未来を考えるという趣旨のもと、「文化科学研究の行方」というテーマを設定しました。一昨年から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行、さらには、世界各地の紛争など、世界は今、混とんとした状況にあります。激動の渦のなかで私たちの周囲の環境は一変しました。人びとは移動の自由を奪われ、わずかな時間と空間のなかで日々を過ごすことを余儀なくされています。こうした状況において、フィールドワークをすることや文化を研究することの意義が、改めて問い直されています。私たちは、この困難を乗り越え、新たな知の地平を切り開かなければなりません。今回の文化フォーラムでは、「文化科学研究の行方」というテーマのもと、そうしたトピックについても、みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

今回はあえて広いテーマを設定することで、様々な学問分野の学生が発表・交流しやすいフォーラムになればと考えており、学生の発表を中心に進めていく予定です。多様な分野の学生が「文化科学研究」の未来と可能性について活発な議論ができるよう準備を進めてまいります。

今年度の総研大文化フォーラムは、大阪府吹田市にある国立民族学博物館(民博)を会場とし、対面とオンラインのハイブリット形式で開催します。今回の文化フォーラムが、「文化科学研究」の未来に貢献できるような場になれば幸いです。皆様のご参加を、心よりお待ちしております。

2022年度学生企画委員長：志川 真子
文化科学研究科長：伊東 貴之
地域文化学専攻長：信田 敏宏(フォーラム事業担当)

The future of cultural and social studies

交通のご案内

- 大阪モノレール…「万博記念公園駅」、「公園東口駅」下車徒歩約 15 分
- バス……………阪急茨木市駅・JR 茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約 13 分
- 乗用車……………万博記念公園の駐車場(有料)をご利用ください。
最寄りの「日本庭園前駐車場」から徒歩約 5 分

※万博記念公園各ゲートで、国立民族学博物館の観覧券をお買い求めください。同園内を無料で通行できます。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

